

人生ピンチヒッター友の会

ニュースレター 第3号 2018. 2. 1

私のピンチヒッター体験 本岡恵美 (たまプラーザがん哲学外来カフェスタッフ)

今までの人生では、誰かにピンチヒッターを務めてもらったことばかりが思い出される。

だが、病気を肩代わりしてくれる人はいない。

二年前に悪性リンパ腫と診断されたとき、私はなぜか「遂に来るべきものが来たか。」という気持ちになった。

病気の体は自分が引き受けるしかない。私は「もしまだこの世での使命があるなら、私を生かして下さい。」と神に祈った。そして幸いにも二ヶ月半後に退院し、樋野先生と面談し、運命に引き寄せられるように、自宅近くにオープンしたたまプラーザがん哲学外来カフェのお手伝いをする事となり、昨夏樋野先生から、ラジオ NIKKEI の番組内で「ハイジ」について講演をせよとの命が下った。またもやピンチ！と困惑したが、「ハイジ」は大好きな物語でもあり、丁度タイミングよく、素晴らしい実写版の映画「ハイジ」も公開され、天が味方してくれた。周りの皆様の温かい応援のおかげもあり、初体験のラジオ収録を、何とか無事に乗り越えることができた。先生の与えて下さった宿題のお陰で、ハイジのように「無邪気に喜ぶ」「小さなことにも愛を込める」という、大切な目標ができた。

ピンチが人を成長させてくれるなら、ピンチにも感謝を捧げようと思う。

大橋都希子 フリーアナウンサー

「親の死に目には会えない仕事と覚悟してください。」新卒でアナウンサーとして入社した名古屋の放送局の研修でそう言われた。

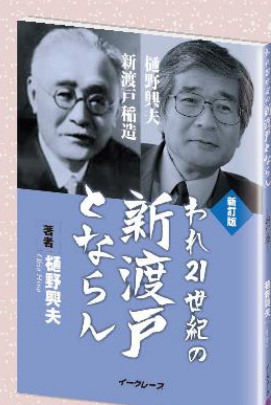
その後 TV、ラジオ共に担当番組を持つことになり、どんなに40度近い熱があっても当時は平然と仕事をこなさなければいけなかった。

5年前の冬、地元岩手の病院で最後の時間を過ごしていた母親を訪ねていた。翌日東京で披露宴司会の仕事をひかえ、夕方病院を後にしようとしたら、看護師さんから「娘さん、お母さんはあと1日持つかどうかです。お仕事誰かに代わってもらえないですか。」と。披露宴のプランナーに尋ねたが、せっかくの晴れの日縁起が悪いのでピンチヒッターは不可とのこと。翌朝早起きし、母親に「待っててね。」と声をかけ仕事に向かい、お開きになるやいなや岩手にとって返した。仕事でも新幹線の中でも、今この瞬間にもしや。と震える心を押殺して病院に戻ると、昨日よりも意識がハッキリした母親がフォーマルスーツの私を見て「あら綺麗。」と言った。

それから二週間母親の命は長らえ、二人の妹と交代で病院に泊まり込んだ。大きな低気圧が通過し雪が沢山降った翌日、当番だった妹が体調を崩し私がピンチヒッターを務めた。その夜、母親は私の腕の中で眠るように天に帰った。

『新訂版・われ21世紀の新渡戸とならん』

2018年1月20日 発売



目次

- 一枚紙
- 陣営の外へ
- 聞いた扇の要
- 楯形心の心
- 共生のコンセプト—改革者の精神
- 南原繁—演義の哲人
- 夢・ビジョンを継ぐ—絵本に学ぶ
- 成功本位と誠実本位
- 「商売成功の秘訣」10ヶ条に学ぶ
- 金をもてもし外務大臣たらしめば
- 小国の大人物
- 年始難読—絶文人に習う
- 構造類型に立向度重
- 義太郎の器量—リーダーの胆力
- 人生の師—歴史・学問の覇権
- 鄭中教育—人格の力
- 隠しからざりし精神—imitate vs. like
- 学生と教員—人を知る者
- 日本肝臓論
- 戦争と癌—自って来るところ遠きもの
- しかない人生

内容紹介

「日本魂のふるさと」として「日本肝臓論」を提議している、日本第一肝臓という再生に、行き詰った日本を打開する具体的なイメージが書かれた。人間の身体と組織、組織の役割と互いの連携性の中の連携性、そして、書物に於ける全体的な「心」の理解は、世界、国家、民族、人類の在り方への深遠な洞察と繋がりである。かつて新渡戸龍雄は歴史家として、歴史的な「責任」を担った。その「心」の上に、当時最前線の知識を代表するインテリゲンチヤン、キュリー夫人にいたことは疑いなく、今こそ龍雄龍雄として「21世紀の知的協力委員会」の再興の時である。「時代を動かすリーダーの渾身の胆力」としての「人間の知能と本能」とも、自由に勇気ある「龍」(龍原繁の「新渡戸龍雄先生」)の文章が思い出される今日この頃である。

—著者記—

定価：本体700円(税別)
文庫：95ページ
ISBN
978-4-909170-04-0
商品コード 801555

●FAX注文書

『われ21世紀の新渡戸とならん—新訂版—』注文 部

フリガナ

お名前 様

お届け先住所

〒 - -

TEL FAX

取寄書店(粘付)印

発行元: **イーループ** Oozel Publication E-Craze Enlightening the world, bearing fruit in the grape vine.
〒277-0821 千葉県船橋市大津4-5-25 TEL.04-7170-1801 FAX.04-7170-1802 e-mail@e-grape.co.jp http://www.e-grape.co.jp

編集者：『人生ピンチヒッター友の会』岩崎秀子
一般社団法人がん哲学外来ホームページ

pchan3954@bf7.so-net.ne.jp
http://www.gantetsugaku.org